

～健康教育の充実～

＜令和元年度大島地区小・中学校養護教諭研修会＞

6月18日、県立奄美図書館において、大島地区内の養護教諭が一堂に会し、保健教育・安全教育・食育について理解を深めました。

【講義】

県及び大島地区教育行政の重点施策等に基づき、学校保健や食に関する指導の充実に向けて学校として取り組むべきことについて、共通理解を図りました。

【研究協議】

「健康相談を充実させるために養護教諭としてどのような取組を行えばよいか」をテーマに、各学校の課題や対応策などを話し合いました。様々な健康相談の実例を基に、校内体制の充実と連携、外部機関等との連携、学校行事との関連などから改善策を出し合い、活発な協議が行われました。

【事例発表】

「わたしの健康教育」というテーマで、事例発表を行いました。「健康的な生活を習慣化できる児童の育成～犬田布小：末吉幸養護教諭」と、「生徒の自尊感情を育むことをめざした健康教育の進め方～龍北中：堀添さおり養護教諭」の実践事例が発表されました。

各学校における指導に生かされていくことが期待されます。

【講演】

「カウンセリング・マインド～ここをつかって聴くということ～」という演題で、鹿児島県スクールカウンセラーの青木聡美さんに講演をしていただきました。「ここをつかって相手のここを受けとめる」ために必要な「傾聴」には、「受容」「共感」「自己一致」が必要で、傾聴についてのワークショップを行うことで、現場で生かすカウンセリング・マインドについて理解を深め、今後の学校での指導に役立つ多くの示唆を得る有意義な講演となりました。



事例発表の様子